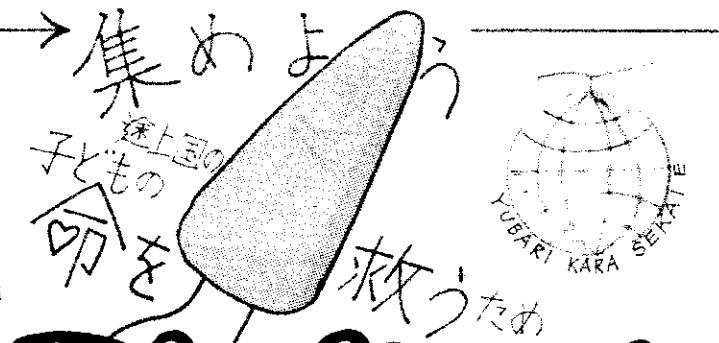


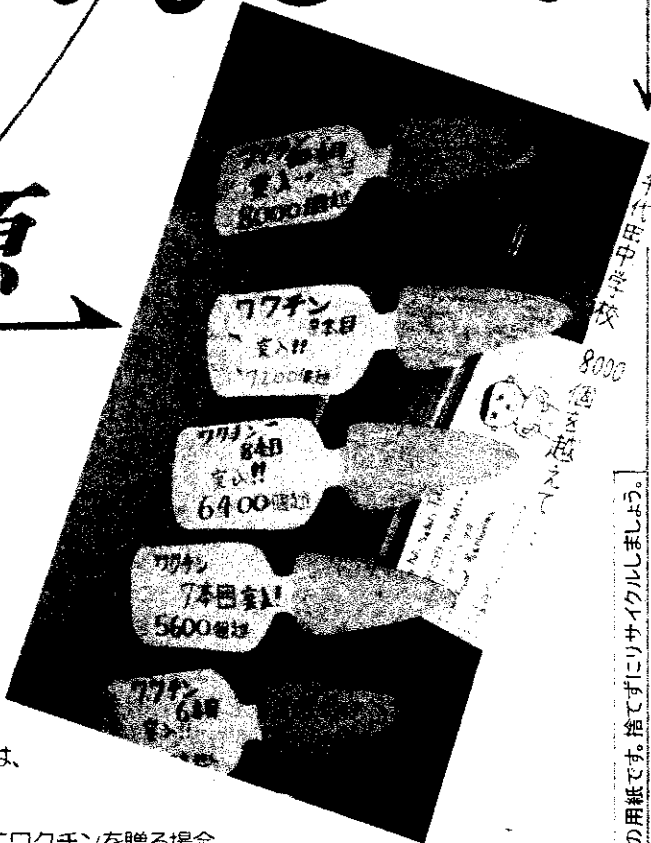
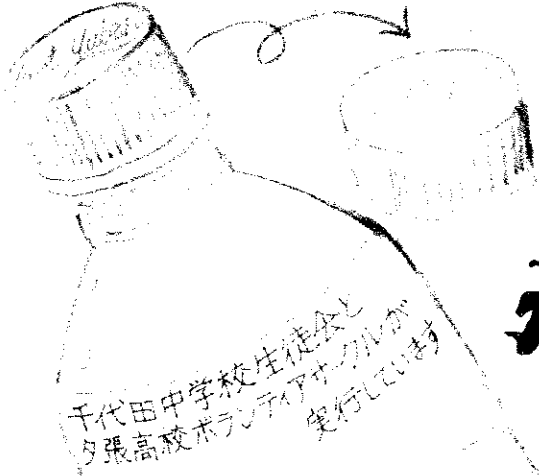
ほっと♥ゆうばり

第10号
2008年7月1日



このキャップがワクチンに!!

捨てれば有料 使えば資源



小さな気持ちで大きな愛に

- CO2削減に寄与 小さなキャップも、分ければ資源
キャップを外す行為で、ペットボトル本体の再資源化率を高め、焼却処分される量を減らし、CO2削減に寄与します。ゴミとして焼却されるとキャップ400個で3,150gのCO2が発生。
- 子どもたちの命を救います
外したキャップはリサイクル業者が引き取り、売却益でワクチンを購入。キャップ400個で10円になります。
ポリオワクチンは1人分20円(800個で途上国の子どもの命が救えます)。ワクチンさえあれば命の助かる子どもたちは、世界で一日に約6,000人もいます。

●キャップがワクチンに変わる たとえばミャンマーにワクチンを贈る場合、コペンハーゲンの国連物資供給センターに発注し調達を依頼します。日本の製薬企業から購入しても、支援国に届けるには輸出手続きや、受け入れ態勢などの準備が困難で、費用も多くなってしまうので、国連機関と連携して供給する方法をとるのです。価格にはワクチン本体に輸送費、現地のお医者さん、看護師さんの人件費も含まれています。

回収方法

千代田中学校の受付に声をかけて、玄関ホールにBOXがありますので入れてください。近くの野内会やアパートから持って来てくれる人が増えています。水ですいでキャップ500個をひと袋にしてお持ちください。(南支所でも回収します)

●ちりパワの千代田中学校
ちりも積もればパワー(力)になる!のキャッチフレーズで、キャップはすでに8,000個を突破して、10,000個も夏休み前には達成しそう。

すご〜いですね〜

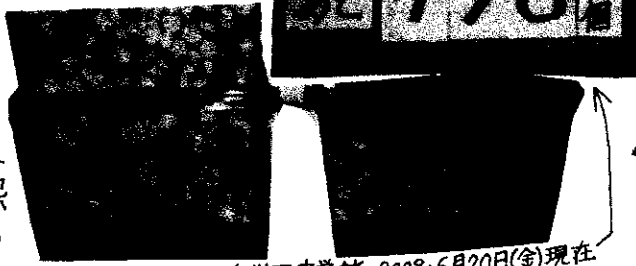
古紙100%の用紙です。捨てずにリサイクルしましょう。

ひと知識

①夕張のペットボトルの回収量

2004年	44.08t
2005年	47.61t
2006年	50.51t
2007年	45.71t

市内各地から回収後



千代田中学校・2008・6月20日(金)現在

目標

800個で ポリオワクチン1本

ワクチン名 1人分

- 結核……………280個(約 7円)
- 百日咳・ジフテリア・破傷風……………360個(約 9円)
- ポリオ(小児マヒ)……………800個(約 20円)
- 麻疹(はしか)……………3800個(約 95円)
- おたふくかぜ・三日ばしか……………4560個(約114円)

②真谷地のリサイクルへ集荷



キャップとラベルを外すのにコストがかかる。汚れのひどい物を除き、そのまま圧縮梱包します。か、ペットボトルだけの梱包に比べるとリサイクル単価は安くなってしまいます。

③キャップの再資源化



本来、キャップは容器包装廃棄物のプラスチックに該当します。夕張では分別を行わず、一般ゴミとして収集しているので再資源化は不可能です。



一般ゴミに入れたペットボトルは大量に入っていると警告シールを貼り、収集しません。

★“命のバトン”プロジェクトが始まります★

みなさんはこれまで、急病や怪我で救急車を呼んだ経験がありますか？ 救急車が到着しても、意識がなかったり、痛みがひどくて、かかりつけ医の名前や居所を伝えられなかったりすることがあります。そこで、自分の病気治療や連絡先の情報を救急隊員にわかるよう、専用ケースに収めて、自宅の冷蔵庫に保管しておき、いざという時に役立つプロジェクトが、ゆうばり再生市民会議の呼びかけで始まろうとしています。今後、市内の医療・介護機関、市消防本部、市福祉課など、命と健康にたずさわる関係者のみなさんのご協力をいただいて、利用しやすいプロジェクトを目指そうと思っています。(福祉・生活分科会)

⑤キャップ分別のポイント

- A) ペットボトルを捨てる際、キャップやラベルをはがし、洗浄してリサイクルに出す。
- B) キャップを一般ゴミに入れず、分別し回収することで環境改善と再資源化に役立つ。
- C) さらに、キャップの再資源化で得た売却益により、途上国の子どもたちにワクチンを贈ることができる。夕張ではすでに千代田中学校生徒会と夕張高校が取り組み中です。(オモテ面に戻る)



★鹿の谷町内会(第4地区)の清掃活動★

6月14日、ファミリースクールひまわりの登り口から鹿鳴館(北炭鹿の谷倶楽部)までの草刈りをしました。今まで個人でしていましたが、第4地区まとまっては初めてです。30名が参加しました。年3回はしたいですね(鈴木会長談)。

★6月は女性デー★

先月は交流会、研修会が相次ぎ、全国に夕張が広がりました。

6月6日

「全国商店街おかみさん交流サミット in 夕張」(参加者300名)

6月14日は昨年に引き続き

「京都府女性の船」夕張市民団体との交流会(参加者100名)

会場となったゆうばり市民会館は両日も女性パワーが満開。

夜の交流会場となったホテルシュエパロ、レースイでは、北海盆踊り、全員輪踊りの、和やかに力強い集いとなりました。

京都府男女共同参画監・長濱英子さん「遠くへ来た気がしません。

夕張が近くなりました」

おかみさん会参加者「夕張で開催して良かった」

京都府からの参加者「元気をもらいました。“夕張”を広めます」と…。皆さんのご支援に元気をもらったのは私たちでした。

6月29日「こどもの本フェスティバル in ゆうばり」も大盛況でした。